

## 趣 旨

地球温暖化やエネルギー構造の多様化が課題となる中、太陽光発電等の再生可能エネルギーや水素・燃料アンモニア、合成メタン等の次世代エネルギーの利活用が進んだ脱炭素社会を先導的に実現するため、知事を本部長とする「**ひょうご水素・脱炭素社会推進本部**」を設置【R4.7.26】

## 構成員

知事（本部長）、両副知事（副本部長）、防災監、技監、新県政推進室長、各部の部長、会計管理者、公営企業管理者、病院事業管理者、教育長、代表監査委員、人事委員長、警察本部長、県民局長、県民センター長、東京事務所長  
 [事務局] 企画部 総合企画局 計画課

## 内 容

施策の企画・総合調整、庁内の情報共有・連携

## 推進体系

区 分	概 要	主な所管部局
(1)グローバル水素の活用	<u>播磨臨海地域CNP形成計画等を通じた水素等受入基地の誘致</u>	企画、土木
(2)ローカル水素の活用	<u>水素を活用したエネルギーの地産地消</u>	企画
(3)再生可能エネルギーの導入拡大	太陽光・風力・バイオマス発電等の再生可能エネルギーの導入拡大	環境
(4)次世代モビリティの普及促進	<u>次世代モビリティや水素ステーションの拡大</u>	環境
(5)環境・エネルギー関連産業の振興	<u>環境・エネルギー関連産業への県内企業の参入促進</u>	産業労働
(6)機運の醸成	<u>県民・事業者への啓発、水素等受入基地誘致に向けた発信</u>	企画、土木

## 推進本部（7/26開催）での主な意見

### ■ 取組目標

- ・ 2025年、2030年の目標など、庁内の合意形成を図りながら進める必要がある。

### ■ 水素モビリティの普及促進

- ・ FCV普及には水素ステーションをどのように増加させるかが大事。
- ・ 環境部は、水素ステーション設置に力をいれており、今後、市町との連携を強める。

### ■ 水素関連産業の振興

- ・ 兵庫県内のものづくり産業をどのように発展させていくかが大事。

### ■ 水素の理解促進

- ・ 水素の安全性についても、発信していかなければならない。
- ・ 水素は目に見えないため、視覚的にどう伝えるかを考える必要がある。
- ・ 子供たちに水素社会とはどういうようなものか、水素社会になると何が良くなるのか、といったことをわかりやすく伝えていく必要がある。